

農村環境向上対策による学校教育と連携した農業体験学習

今年度も農地・水環境保全活動組織で農村環境向上対策事業として、学校教育と連携した活動が実施されました。5月23日の田植え作業は、にかほ市立金浦小学校5年生と地区活動組織会員で現在は見られない伝統的田植え作業と農業・食料・農業水利について学び、最後に生徒から体験感想を述べてもらい秋の収穫を期待して終了いたしました。

今年は、春先の低温・突風・夏の暑さも心配されましたが、作柄も順調に進み9月には実りの秋をむかえ稲刈作業の計画を立てましたが、刈り取り期に連日の悪天候に見舞われ実施することができなくなり、生徒さんも楽しみにしていたのですが、今年度は中止となりました。

その後、小学校で組織会員と農業学習交流会を開催したいということで、1月24日に組織会員に招待状が届き「農業体験学習ライスパーティー」に10名の会員が参加し、農業関係について学びながら楽しく有意義な交流会となりました。

最後に今年度の反省点としては、多少の悪天候でも短時間・稲刈作業を実施したかったと思いました。



活動体制	
実施主体	飛地区農地・水環境保全活動組織 代表 佐藤 正春
後援・連携	水土里ネットにかほ・にかほ市立金浦小学校・秋田しんせい農協金浦支店・にかほ市農林水産課
実施期間	平成24年5月23日～平成25年1月31日
参加者	田植え作業：生徒47名・組織会員14名 農業学習発表会：生徒47名 組織会員10名
報道関連	にかほ市企画広報係・秋田しんせい農協金浦支店広報係
活動実施年数	10年目（平成15年～）
連絡先	〒018-0311 にかほ市金浦字花潟93-1 にかほ市土地改良区 TEL. 0184-74-5496
その他	県奨励賞（H19）、県知事賞（H23）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネットにかほ（須田 久）					
○活動の目標及び達成率		目標	農業体験学習を通じて農業・食料・農業施設等多面的機能の重要性		
		達成率	80%		
○活動に対する評価		・農業体験学習は6年目に入り充実してきている。			
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	B	多様な運動はしていない
①役職員・組合員の参加	A	組織体制は確立している非農家へも浸透している	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	B	組織内で後継者に参加呼びかけが必要である	①他組織との連携構築	B	連携はしていない
2. 活動の意味性について			②地域住民等の理解	B	理解を得ている
①基本理念の設定	A	基本的な意識を持って取り組んでいる	③施設管理・地域資源の保全強化	B	体験学習で充実させていきたい
②地域の歴史等の伝承	A	伝統的農法を実践している	④運動の地域づくりへの関わり	A	水土里ネットからは支援をいただいている
③運動の先駆性	B	他の手本になるよう実践している	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	A	組織で継続を確認している
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	B	体験学習により地域農業への関心を示している
①運動の継続性	A	継続性を重要視している	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	B	参加者も増えている	1) 組織会員も高齢化しているため、今後は若い会員も参加できるように計画したい。		
③運動の計画性	A	年間計画を立てながら実践している	2) 小学生の農業全般について、いろいろ勉強しているようなので、組織としても農業に関する情報等を得ておく必要がある。（専門的な質問も出てきて回答できないものもある）		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他